

BoP ビジネス、  
ソーシャルエンタープライズ、  
グローバル金融を知る

マイクロファイナンス

# 「顔の見える金融」

横浜コース

# 2014

7月6日(日)～11日(金)

アライアンス・フォーラム財団  
BRAC大学  
共同開催

**ALLIANCE**  
FORUM  
FOUNDATION



世界中の人々の自立のために、

日本ができること

お問い合わせ：

一般財団法人アライアンス・フォーラム財団  
グローバル人材育成部門

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町4-4-20 三井第二別館7階

E-mail: [tohokoku@allianceforum.org](mailto:tohokoku@allianceforum.org)

03-6225-2795(東京オフィス)

045-232-4281(横浜オフィス)

# みなさまへメッセージ

## 新しい金融のかたち、「顔の見える金融」



アライアンス・フォーラム財団  
代表理事 原 丈人

近年、マイクロファイナンスは残念なことに「高利貸しのひとつ」として誤解を生んでいる事がありますが、我々は、マイクロファイナンスが果たす役割には大きな可能性が秘められていると信じています。なぜなら、マイクロファイナンスとは、単に金融サービスへのアクセスだけでなく、職業訓練や技術教育へのアクセス、市場へのアクセスも含めた、新しい金融の姿だからです。私はこれを、「顔の見える金融」と呼んでいます。人々の潜在的な能力を見抜き、彼らが創造的な生活を送るために必要なリソースを提供する、人々の暮らしに根差した新しいかたちの金融です。

マイクロファイナンスは一過性のブームではなく、これからの更なる発展が期待される、進化し続ける社会技術革命です。途上国における貧困生活者層を支え、生活水準を底上げするのに有効な社会システムであり、当財団が推進する BoP (Base of Pyramid) ビジネスやソーシャルエンタープライズとも密接に関わっています。そして、私が提唱する「公益資本主義」という新たな経済モデルの基盤となる金融の仕組みのひとつにもなります。

アライアンス・フォーラム財団は、現場からマイクロファイナンスを理解し世界中のすべての人に適切な商品・サービスを提供できるグローバル人材の育成を目指しています。ひとりでも多くの方が、本コースを通して、マイクロファイナンスの基本的精神である「顔の見えるファイナンス」に立ち戻り、世界の金融秩序を取り戻すことの重要性を感じて頂ければと思います。

“Microfinance entails...

Access to Finance, Access to the Market, Access to Training” George Hara

## マイクロファイナンスは、 グローバル人材に欠かせない基礎知識

「お金」は、すべての人々の暮らしの基盤であり、権利です。我々が日々の生活の中で、「お金」を手にしなない日はほとんどありません。しかし、現在のグローバル金融市場では、社会に於いてもビジネスに於いても欠かせない「お金」を、必要な時に、必要なだけ、必要な人・組織が入手できるような仕組みとなっているのでしょうか。

### Global Skills

マイクロファイナンスへの  
理解を基礎から深められる

マイクロファイナンスの  
現場を知ることができる

開発途上国BoP (\*)層の家計や  
キャッシュフローの特徴を知ることができる

BoP(\*)ビジネス、  
ソーシャルエンタープライズ、  
ソーシャルファンディングの  
顧客を知ることができる

グローバル金融市場に於ける、  
マイクロファイナンスの課題と可能性  
について学ぶことができる

開発経済、開発援助、  
金融政策の基礎を学ぶことができる

(\*)BoP: Base of Pyramid

アライアンス・フォーラム財団では、2009年よりマイクロファイナンスの本場バングラデシュにて養成コースを開催しており、これまでに延べ150人以上の方々に参加頂きました。マイクロファイナンスに対する知見を深めて頂くことを目的に、世界屈指の大手事業者から草の根規模の組織までが存在するバングラデシュにて、BRAC 大学との共催により、アカデミックとフィールドの双方の研修を実施しています。

以前にも増して重要性の高まりを見せる、健全な金融システムの構築や金融市場に於ける課題解決、更には BoP(Base of Pyramid) 層の生活改善のためのビジネスチャンスについて、本コースを通して学んで頂きたいと思えます。

今回は、マイクロファイナンスの現場との架け橋となる国内マイクロファイナンスコースを開設しました。

本コースは、これまでバングラデシュで行ってきた研修内容を日本でも受けることのできる貴重な機会となっています。BRAC 大学より長年マイクロファイナンス研究に携わっている教授をお迎えし、最先端の講義を通して、マイクロファイナンスの基礎を学び、フィールド訪問も行うことで包括的な理解を促すことを目的としています。

貧困層の生活を改善し中産階級層を拡大させるために、マイクロファイナンスが世界で担う役割について、これからを担う若い方々にぜひとも考えて頂きたく思えます。

多くの学生の方々や、マイクロファイナンスを基礎から学びたい社会人の方々にご参加頂ける事を、心よりお待ちしております。

## 募集要項

日本国内でマイクロファイナンスの現状を学べる充実の6日間

日程：2014年7月6日(日)～11日(金) 6日間

場所：アライアンス・フォーラム財団 横浜オフィス(横浜三井ビルビルディング 15階)

参加費：156,000円(税込)

【含まれるもの】 講義受講料

【含まれないもの】 講義中の昼食、交通費、宿泊費

※遠方の方は宿泊先を各々手配してください。

※お昼につきましては、持参または会場近くで購入していただく形となります。

定員：25名(最小催行人数15名)

申込：選考(応募フォームに志望動機等の記入欄あり)を実施します。

<http://www.allianceforum.org/73ni> にアクセスし、応募フォームよりお申し込みください。

締切：2014年6月16日(月)

## コース内容

フィールド訪問を含めた多彩な講義内容

### 講義内容(予定)

- 貧困層と彼らのお金
- マイクロファイナンスの成立ち・背景(バングラデシュとその他途上国の事例)
- マイクロファイナンス機関の運営・業務(貸付・回収・経営情報システム・金利の設定・成長戦略の策定)
- 貧困層への金融商品の範囲(預金・信用取引・保険・年金・送金等)
- マイクロファイナンスの効果(金融危機がマイクロファイナンスに与える影響)
- マイクロファイナンスをめぐる規制構造(国際機関・政府機関の政策、その効果の測定と管理)
- マイクロファイナンス機関への資金供給(ドナー・政府・社会投資家・民間企業)
- マイクロファイナンスの今後(NGO・民間企業・小規模銀行の動向・金融業界との統合の可能性)
- 日本のマイクロファイナンス
- その他の国々のマイクロファイナンス

\*講義は全て英語で行われます。

### フィールド訪問

- 日本国内でマイクロファイナンスに係る活動を行う各種団体を視察し、ヒアリングを実施。
- バングラデシュで実際に活動するマイクロファイナンス機関とテレビ中継にて、ローン・オフィサーの業務(新クライアントの選定方法、借り手との信頼関係の構築方法、貸し倒れマネジメント等)や借り手の意識(マイクロファイナンス機関の選定、フィナンシャルリテラシー、資金の使用用途、等)を視察、ヒアリング。

## 講師紹介

マイクロファイナンス第一人者による質の高い講義



S. M. Hashemi  
主任教官  
BRAC 大学教授



世界的なマイクロファイナンスの権威。多様に進化する世界の「貧困者への金融サービス」を自由な発想で、アカデミックに研究するとともに、現場へのフィールドワークを重視。マイクロファイナンス分野の人材育成にも意欲を燃やす。



Stuart Rutherford  
Safesave 創設者



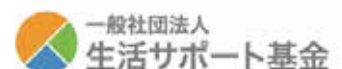
30年以上にわたり貧困者のファイナンスについて、実践と研究をしてこられたマイクロファイナンス研究の第一人者である Safesave 創設者。マイクロファイナンスの基礎となる、「貧困層の家計、キャッシュフローの特徴」を貧困ダイアリー(日記)を通じて研究。

## 協力団体

日本国内のマイクロファイナンス機関の活動紹介

### 一般社団法人 生活サポート基金

マイクロファイナンスの考え方を取り入れ、経済的に困った方の生活再生のために無担保、小額融資を行っている。貸付以外にも解決策の提案、関係機関への紹介等を通して、生活の再生を包括的に支援する。



### 女性・市民コミュニティバンク(WCA)

人の信頼を担保に社会的事業に低金利での小額融資を行っている。非営利・相互扶助による透明性の高い金融によって、市民事業の企業や運営を支援し、地域経済の発展や豊かな地域社会づくりに貢献することをめざす。



### 難民起業サポートファンド

日本で起業する難民を支援している非営利団体。マイクロファイナンス機関として事業資金の融資や経営へのアドバイスなどを行い、難民の経済的自立をサポートしている。



# マイクロファイナンスの YES or NO



Q1

マイクロファイナンスとは、貧困層に対し、無担保で小口の融資を与える事である。

A1

**NO** マイクロファイナンスとは、単に小口の無担保融資を指すのではなく、預金、保険、送金、更には生活基盤を支えるための職業訓練や技術支援もサービスとして含まれます。本コースでは、バングラデシュの主要マイクロファイナンス機関が実施する、上記すべてのサービスに対する理解を深めて頂きます。

Q2

近年は、マイクロファイナンスよりも、BoP(Base of Pyramid) ビジネスやソーシャルエンタープライズが、貧困削減にはより有効であると言われている。

A2

**NO** マイクロファイナンスは、現在では、世界の人口ピラミッドの底辺にいる、約40億人のBoP層の生活を支える上で欠かせないツールとなっています。マイクロファイナンスは、BoP市場の開拓と新規ビジネスの展開とも非常に密接な繋がりを持っており、ビジネスに於いても企業にとっても、十分に注目値する分野です。実際に、企業がマイクロファイナンス機関のネットワークを生かし、彼らの商品やサービスを展開するケースは近年増加の傾向にあります。本コースは、発展途上国に於けるBoP層の家計の特徴やキャッシュフローを肌で感じることで、恰好の機会となっています。



Source: MIX Market Cross Market Analytics より作成

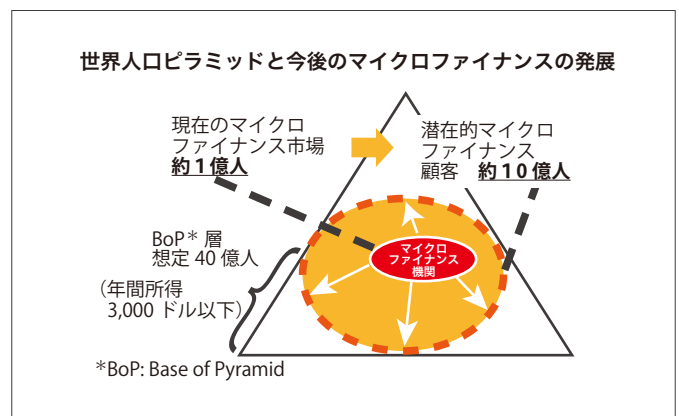
Q3

マイクロファイナンスは、貧困層の多くいる発展途上国のみのものである。

A3

**NO** NGOにより開始されたマイクロファイナンスは、今日までに目覚ましい発展を遂げ、先進国中心の伝統的な金融市場においても無視できないほどに、その規模を膨らませています。その為、マイクロファイナンスは既に発展途上国だけのものではなく、先進国、延いては、世界全体のものであると言えます。よって、世界中すべての人々が、マイクロファイナンスを含めた世界の金融メカニズムのあり方（金融規制による監督の強化、国際的投融資の枠組みの構築、金融機関の倫理に基づいた経営の促進等）について考えていく必要があります。

本コースでは、マイクロファイナンスを含めた金融市場の健全化とサービスの多様化について、議論します。



## 一般財団法人 アライアンス・フォーラム財団

アライアンス・フォーラム財団は1985年カリフォルニアにおいて創設された米国内国歳入法第501条C項3号の規定に基づく公益法人で、国連経済社会理事会特別協議資格を有する非政府機関です。80年代には、外務省、通産省、郵政省、米政府の後援を受け、日米間の先端技術分野における通商摩擦緩和のために活動して大きな成果を挙げ、日米財界人会議メンバーから大きな評価を得ました。90年代前半には、IT及びバイオ分野の米国ベンチャー企業と日本の大企業の戦略的提携を促す活動を行い、我が国の産業構造転換に尽力しました。2000年度からは、三つのテーマ（1）技術を使って世界を変える、（2）新たな基幹産業を創生すべく新しいテクノロジーを生み出し時代を担う人材を育てる、（3）世界から必要とされる日本をつくりを地球規模で貢献する一に沿った活動に取り組んでいます。近年、国内での活動を本格化させ、2011年に一般財団法人アライアンス・フォーラム財団を設立しました。日米両国のほかアフリカ（ザンビア）とアジア（バングラデシュ）にも拠点をもち、世界を変えるパイオニアとして、様々な人、組織と協働しながら進めてまいります。



## BRAC University

2001年BRACにより設立。バングラデシュの発展を担うリーダー育成部門であり、BRACのこれまでの活動実績を基盤に運営されています。建築学部、工学部、社会科学部、人文学部、理学部があります。ビジネス・スクールも併設しています。開発学部(BRAC Development Institute:BDI)は、貧困から脱出するための社会保障制度や金融サービス、草の根的な活動などにフォーカスしており、他大学にはない実践的な開発学のプログラムを提供しています。

